

フジテック・コリア 大韓住宅公社向けにエレベータ386台を大量受注！ 3年連続受注で、受注累計は833台に

フジテック株式会社(本社:滋賀県彦根市 社長:内山高一)の韓国でのグローバル法人「フジテック・コリア」(本社:仁川広域市 社長:尹寛淑)は、このたび大韓住宅公社向けにエレベータ386台を受注し、これまでの受注と合わせ、833台のエレベータを大量受注しました。今回の受注総額は約22億円となっています。

韓国の国家機関である大韓住宅公社(Korea National Housing Corporation)では、現在、韓国の主要都市である仁川、大邱、大田、光州を含めて全国14の都市において、新しく住宅を建設する大規模プロジェクトを推進しています。

フジテック・コリアは、同公社から、2005年にエレベータ170台、2006年に277台のエレベータを大量受注したのに続き、このたび386台のエレベータを受注しました。これにより、同公社からの受注累計は、833台となりました。

今回受注したのは、烏山、華城、原州、光州などの各都市において建設される地上12階建から22階建の中層住宅向けで、ここに15人乗りエレベータが主に設置されるもので、完成は2010年末の予定です。

これまで同公社向けに受注したエレベータのうち、ソウル、釜山、光州などの各都市において既に180台が完成しており、利用者の方々からは乗り心地、機能性、安全性に優れていると好評を得ています。

今回の受注においても、同公社がフジテックの商品の性能と品質を高く評価し、大きな信頼を寄せたことで、3年連続しての受注につながりました。



既に完成したソウル郊外の「トゥエゲウォン住宅」

【韓国でのその他の主な受注】**「ソウル地下鉄」向けに、エスカレータ24台を受注！**

フジテック・コリアは、首都・ソウルの主要交通機関「ソウル地下鉄」の2、3、4号線向けに、このたびソウルメトロ(ソウル地下鉄公社)からエスカレータ24台を受注しました。

これは、既設の地下鉄駅舎への新規取り付けのほか、老朽化したエスカレータの取り換えを行うもので、新しいエスカレータは省エネに配慮して、センサーで人を感知し、起動・停止を行う「自動運転装置」が装備されます。

ソウル市では、2015年までに、駅舎用エスカレータのリニューアル工事や増設工事を進めており、今回の受注はその一環となるものです。

同時に、韓国政府もすべての鉄道駅にエレベータ・エスカレータを設置する「バリアフリー化」を促進しており、今後の需要の拡大が大いに期待されます。

フジテック・コリアでは、これまで「ソウル地下鉄」5、6号線向けにエスカレータ73台を納入しているのを始め、釜山市の「釜山地下鉄」2号線向けにエスカレータ44台、さらに韓国中央部に位置する大田市の「大田地下鉄」1号線向けに、ハイライズ機種を含むエスカレータ80台などが活躍しており、韓国内の地下鉄向けエスカレータの実績累計は252台となっています。

企業間競争がますます激化する韓国の昇降機市場において、フジテック・コリアは、国家機関や交通機関向けに目覚ましい受注を果たしていることから、今後も公的プロジェクトや大手ゼネコン向けプロジェクトの販売促進に全力を挙げ、韓国内での更なるシェア拡大を目指しています。



「ソウル地下鉄」6号線のエスカレータ

本件のお問い合わせ先：フジテック株式会社

本社広報室 TEL: 0749 30 6501 FAX: 0749 30 7055

東京本社広報室 TEL: 03 4330 8233 FAX: 03 4330 8220

<http://www.fujitec.co.jp>

以上